

## 令和4年 畑作・野菜 病害虫発生情報 第29号

作物名：キャベツ【県南地域】（9月中旬）

9月16日に実施した巡回調査の結果をお知らせします。  
ヨトウガの卵塊が多い状況です。卵塊や孵化幼虫の発見に努め、早期防除を徹底しましょう。  
そのほかのコナガ等の鱗翅目幼虫やアブラムシ類の発生は少ない状況です。

### 1. ヨトウガ（発生量 多い）

県南地域では夏眠態成虫の発生盛期を迎えており、卵塊(写真1)が確認された発生地点率及び寄生株率は平年より高い状況である。10株当たり寄生数のうち、幼虫は平年よりやや少ないものの、卵塊は平年より多い状況であることから、卵塊や孵化幼虫の発見に努め、早期防除を徹底する。

巡回調査におけるヨトウガの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (卵塊+幼虫%)	寄生株率 (%)	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少			卵塊	幼虫
9月中旬	県南	本年	15	0	0	0	33.3	33.3	1.33	0.11	0.04
		前年	20	0	0	0	30.0	30.0	1.67	0.17	0
		平年	14	0	0	0.5	20.1	20.6	0.91	0.08	0.09

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数41以上、多 同21~40、中 同6~20、少 同1~5。

### 2. コナガ（発生量 少ない）

発生地点率は平年より低く、幼虫及び蛹の10株当たり寄生数は平年より少ない状況である。

巡回調査におけるコナガの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (幼虫+蛹%)	10株当たり寄生数		
				甚	多	中	少		幼虫	蛹	計
9月中旬	県南	本年	15	0	0	0	40.0	40.0	0.76	0.04	0.80
		前年	20	0	0	0	25.0	25.0	0.28	0.03	0.32
		平年	14	0	0.8	1.7	57.6	60.1	2.13	0.38	2.51

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数101以上、多 同41~100、中 同11~40、少 同1~10。

### 3. モンシロチョウ（発生量 少ない）

発生地点率は平年より低く、卵及び幼虫・蛹の10株当たり寄生数は平年より少ない状況である。

巡回調査におけるモンシロチョウの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (卵+幼虫+蛹%)	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少		卵	幼虫+蛹
9月中旬	県南	本年	15	0	0	0	33.3	33.3	0.11	0.18
		前年	20	0	0	0	35.0	35.0	0.13	0
		平年	14	2.5	3.3	4.1	63.3	73.2	2.73	0.72

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数41以上、多 同21~40、中 同6~20、少 同1~5。

#### 4. ウワバ類 (発生量 少ない)

発生地点率は平年並であるが、卵及び幼虫・蛹の10株当たり寄生数は平年より少ない状況である。

巡回調査におけるウワバ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (卵+幼虫蛹%)	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少		卵	幼虫蛹
9月中旬	県南	本年	15	0	0	0	73.3	73.3	0.51	0.40
		前年	20	0	0	0	65.0	65.0	0.58	0.28
		平年	14	0	0.7	6.3	64.6	71.6	1.34	0.55

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数41以上、多 同21~40、中 同6~20、少 同1~5。

#### 5. アブラムシ類 (発生量 少ない)

アブラムシ類の発生は確認されず、発生地点率及び寄生程度は平年より低い状況である。

巡回調査におけるアブラムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	寄生株率 (%)	寄生程度
				甚	多	中	少			
9月中旬	県南	本年	15	0	0	0	0	0	0	0
		前年	20	0	0	0	0	0	0	0
		平年	14	0	0.8	1.7	17.7	20.2	3.66	1.19

注) 発生程度：甚 寄生程度76以上、多 同51~75、中 同26~50、少 同1~25。

#### 6. ハスモンヨトウ (卵塊・孵化幼虫の発生に注意)

8月中旬巡回調査において、一部のほ場で卵塊及び孵化幼虫の発生が確認されたが、9月中旬の巡回では、卵塊及び幼虫(写真2,3)は認められなかった。

今回の台風14号の通過に伴い再飛来するおそれがあるため、発生動向に注意しながら、早期発見に努め、鱗翅目幼虫に対する薬剤防除を徹底する。



〔写真1〕 ヨトウガの卵塊

〔写真2〕 ハスモンヨトウの卵塊  
(葉裏に産みつけられた綿毛の卵塊)

〔写真3〕 孵化幼虫による食害症状  
(中央；白粒群は卵塊痕跡)  
(円内；孵化直後の幼虫)

県民の皆さまへのお願い  
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 担当：主幹専門員 及川 健  
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6  
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900  
E-mail: byogaichu@pref.aomori.lg.jp

※当情報は青森県農業情報サービスネットワーク「アップル農場：https://www.applenet.jp」に掲載しています。